

会議録

会議の名称	令和3年度 第2回別府市公共交通活性化協議会
開催日時	令和3年8月11日(木) 10:00~11:00
開催場所	別府市役所 5階 大会議室
出席者	別添名簿参照
<p>≪会議の内容≫</p> <p>1 報告事項</p> <p>(1) 第1回協議会(書面開催)の議決事項について (事務局説明) 説明内容省略 (質疑応答) 特になし。</p> <p>(2) 別府市地域公共交通計画策定調査業務委託業者の決定について (事務局説明) 別府市地域公共交通計画策定調査業務に係る公募型プロポーザル方式による選定結果等について、経緯と結果、審査基準、審査講評等を説明。 (質疑応答) 特になし。</p> <p>(3) 別府市地域公共交通計画策定調査業務の取組方針について (委託業者説明) 中央コンサルタンツ株式会社から別府市地域公共交通計画策定調査業務の取組方針の概要について説明。 (質疑応答) 以下のとおり</p> <p>➤ 新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通の利用者が減少している状況で調査を行うのかとの問いに、今後コロナ以前の状態に戻ることがあるのかということも含めて、コロナ禍における状況をきちんと調査して、その中で何が出来るのかを検討すると回答。</p> <p>➤ 新交通システムに係る施策の適用可能性の検証について、どのような計画かとの問いに対し、具体的なサービスや、導入した場合の既存サービスへの影響は慎重に考える必要があり、実際に今回の計画の中で具体的にどこをやるという訳ではないが、事業者が導入を考えて頂けるような実施計画の作成のサポートを考えていると回答。</p>	

- 公共交通を担うものとして新サービスの導入は前向きには捉えているが、既存事業への影響もあり、導入にあたっては高度な経営判断が求められるため、自信を持って判断できるような材料、情報が欲しいとのご意見に対して、調査をしっかりと行い、ニーズを把握し、調査結果を事業者様に提示していきたいと回答。
- 国大線は市の補助はなく、国と県の補助だが、乗込み調査対象とするのかとの問いに対し、補助対象路線なので調査する必要があると考えている。しかし、大分県の中部圏の調査も今年度実施されるため、県と協議し情報共有できる部分はしていきたいと回答。
- コロナ禍における調査においては利用者を増やすことが改善に繋がると考える。利用していない方への調査アプローチも必要ではないか。利用者ヒアリング調査予定の拠点施設については、利用人数や目的を考慮する必要があるのではないかとのご意見。
- バス路線はほとんどの路線が赤字路線。コロナ以前の状態には戻らないであろう。アフターコロナを見据えた在り方を検討する必要がある。現状の交通ネットワークの存続は難しい。市民の公共交通を守らないといけないが、民間だけでできないこともあるとのご意見。
- 大分県の中部圏の計画との住み分け、連携をしっかりと取っていただきたい。前計画の評価・検証をしっかりと行っていただきたいとのご意見。

3 その他

次回協議会開催は11月の予定。